

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認# 平成 年 月
レジメン名	EP(VP-16+CDDP)(小細胞がん)(アブレタントカプセル)		
疾患名	小細胞がん	適応の備考	がん腫:胆のう、膵、肺、胃、食道の小細胞がんを使用する。
適応分類	進行再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日	エトボシド 100mg/m ² day1,2,3、シスプラチン80mg/m ² day2		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
2	主ルート	アロキシ注バッグ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																				
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m ²		●																				
		シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																							
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分	●																				
5	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分		●																			
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●	●	●																		
	点滴静注	エトボシド 100mgあたり、250mLの生食液に混和	100 mg / m ²																						
7	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分		●																			
8	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
9	経口投与	アブレタントカプセル	125 mg / body			●																			
		抗がん剤の投与1時間前に服用																							
10	経口投与	アブレタントカプセル	80 mg / body				●	●																	
11	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body				●	●	●	●															
		分2 朝食後																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

シスプラチン投与の前後にそれぞれ輸液500mL2本/120分を投与、適宜ランックス注を投与

エトボシド:DEHPフリー点滴セット使用。

・day2～6のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day6のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

アブレタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アブレタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アブレタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。